



私たちは共に強くなる！

国際ポンペ病の日

2016年4月15日

より早期の発見で より良い結果に！

ポンペ病の早期診断は最善の治療結果をもたらしますが、今日、症状が出てから診断されるまで平均10年を要しています。

では、どうすればよいのでしょうか？

ポンペ病の初期症状を知りましょう。

ポンペ病は血液検査で診断可能ですが、初期症状は多岐に渡り、また極めてまれな病気なので、医師にはしばしば診断がつかないことがあります。

乳児型ポンペ病の初期症状*

- 心臓肥大
- 摂食障害
- 筋肉の緊張低下
- ヘッドラグ（頸部後屈）
- 成長不良

*通常、乳児型の症状は生後1週間以内に現れますが、これらの症状すべてが現れるわけではありません。

遅延型（成人型）ポンペ病の初期症状*

- 歩行や階段昇降が困難になる。
- 椅子からの起立が困難になる。
- 呼吸が困難になる。（しばしば起床時に感じる頭痛、吐き気、眠気などで気づく。）
- 筋肉痛や筋力低下を感じる。
- 頻繁に転倒する。
- 軽い運動で疲労を感じる。

*遅延型の症状は何歳でも現れますが、これらの症状すべてが現れるわけではありません。

ポンペ病かもしれないと思われたら、検査を受けてくだ

より詳しい情報を知りたい方は、こちらをご参照ください。

患者会 Pompe House <http://pompe-house.com/>

LYSO LiFE <http://www.lysolife.jp/about/lysosomal/pompe/about.html>

INTERNATIONAL POMPE ASSOCIATION: www.worldpompe.org